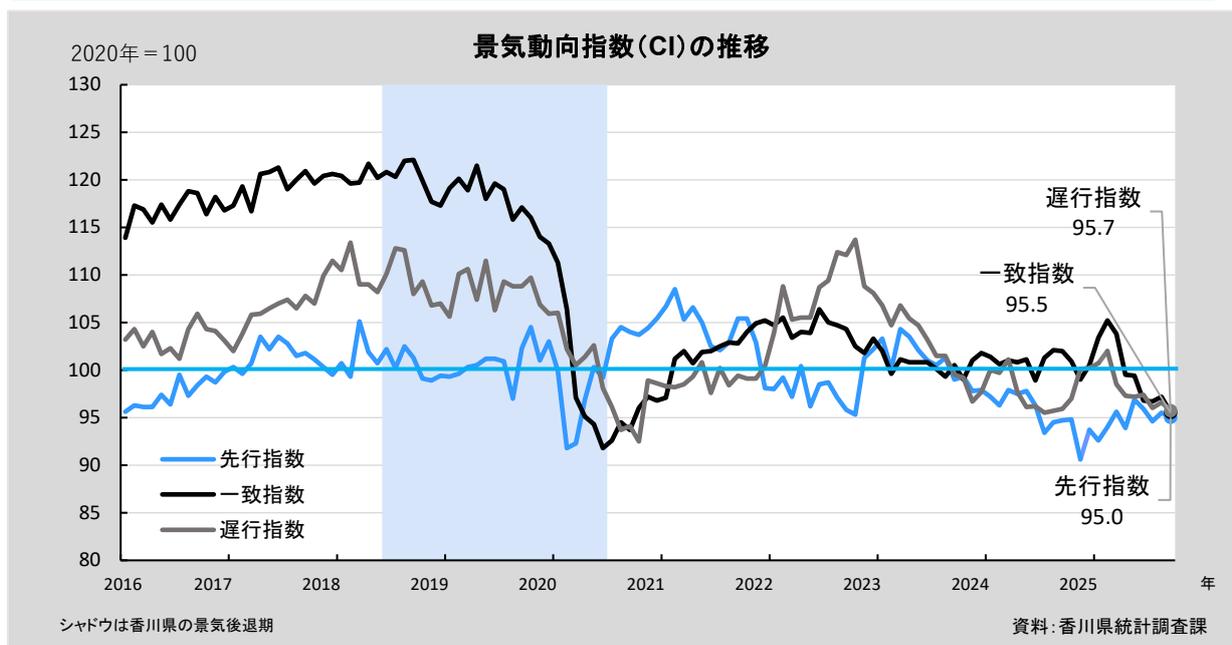


概況	持ち直している。
個人消費	緩やかな増加基調にある。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	持ち直しの動きがみられる。
生産活動	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	持ち直しの動きに弱さがみられる。
貿易	輸出は増加、輸入は減少している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

景気動向指数(かがわ CI) 一致指数 2カ月ぶり下降



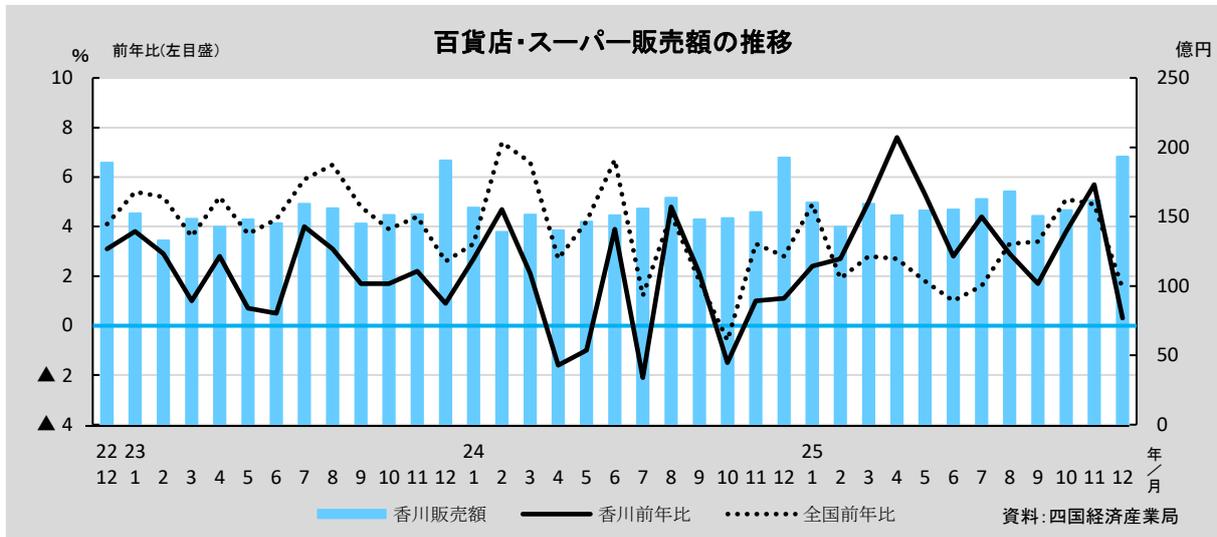
景気の現状をみると、11月のCI一致指数は95.5（前月比▲1.7ポイント）と2カ月ぶりに下降。CI先行指数は95.0（同▲0.5ポイント）と2カ月ぶりに下降。CI遅行指数は95.7（同▲0.9ポイント）と2カ月ぶりに下降。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、鉱工業生産指数、有効求人倍率等がマイナスに寄与し、2カ月ぶりに下降となった。

採用景気指標	先行系列		一致系列		遅行系列	
	寄与度		寄与度		寄与度	
1 新規求人数	▲ 1.36	1 雇用保険受給者実人員	▲ 0.18	1 常用雇用指数	▲ 0.15	
2 乗用車新車登録台数	▲ 1.36	2 有効求人倍率	▲ 0.91	2 有効求職者数	▲ 0.56	
3 鉱工業在庫率指数	0.17	3 所定外労働時間指数	▲ 0.16	3 消費者物価指数	▲ 0.11	
4 新設住宅着工戸数	0.75	4 鉱工業生産指数	▲ 0.93	4 家計消費支出	0.84	
5 金融機関貸出残高	0.05	5 鉱工業出荷指数	▲ 0.19	5 鉱工業在庫指数	▲ 1.06	
6 消費者態度指数	1.29	6 建築着工床面積	0.34	6 法人事業税調定額	▲ 0.23	
		7 百貨店・スーパー既存店販売額	0.30	7 第3次産業活動指数	0.34	

●百貨店・スーパー販売額

14 カ月連続増加 ↑

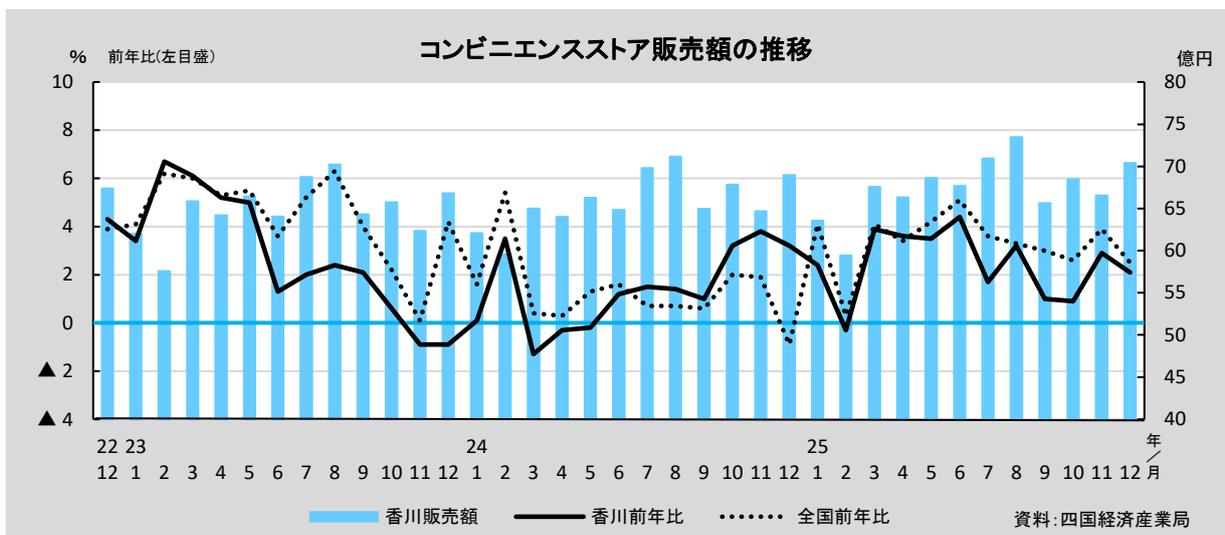


2025/12月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(百万円)	1,218	704	14,491	27	53	815	2,006	7	19,322
前年同月比(%)	▲ 10.8	▲ 6.0	2.7	5.1	▲ 9.9	▲ 2.8	▲ 5.0	5.3	0.3

12月の百貨店・スーパー全店(89店)の販売額は193.2億円で、前年同月比+0.3%と14カ月連続で増加した。「飲食料品」は米や鶏卵の高値の継続、冷凍食品の動きが好調なことなどから同+2.7%と前年を上回った。一方、「衣料品」は気温が高めに推移し、冬物衣料や肌着が苦戦したことなどから同▲10.8%と減少した。

●コンビニエンスストア販売額

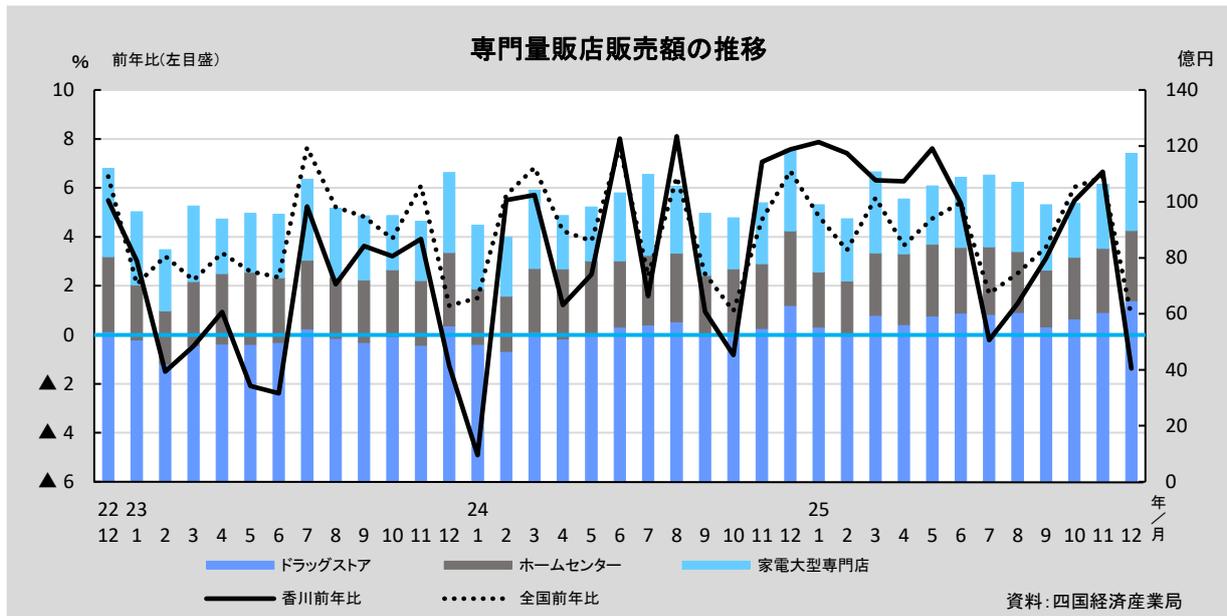
10 カ月連続増加 ↑



12月のコンビニエンスストア全店(406店)の販売額は70.4億円で、前年同月比+2.1%となり、10カ月連続で増加した。

●専門量販店販売額

5 カ月ぶり減少

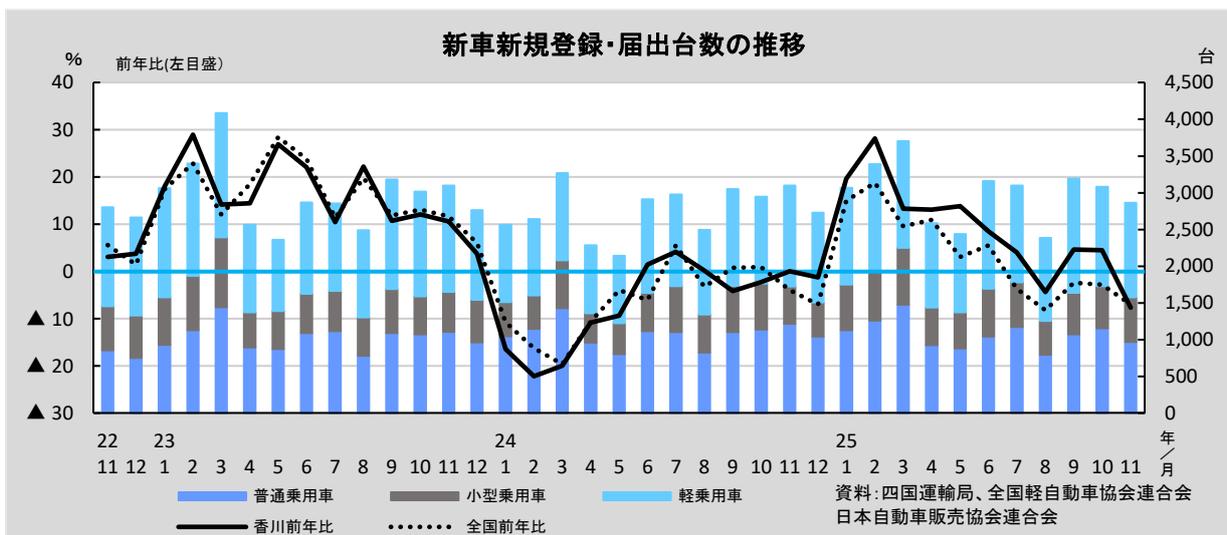


12月の専門量販店全店（237店）の販売額117.3億円で、前年同月比▲1.4%と5か月ぶりに減少した。

業態別にみると、家電大型専門店（27店）の販売額は27.5億円で前年同月比▲6.1%となった。ドラッグストア（164店）の販売額は、64.7億円で同+2.7%となった。ホームセンター（46店）の販売額は、25.1億円で同▲5.7%となった。

●新車新規登録・届出台数

3 カ月ぶり減少



11月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は2,862台で、前年同月比▲7.7%と3か月ぶりに減少した。

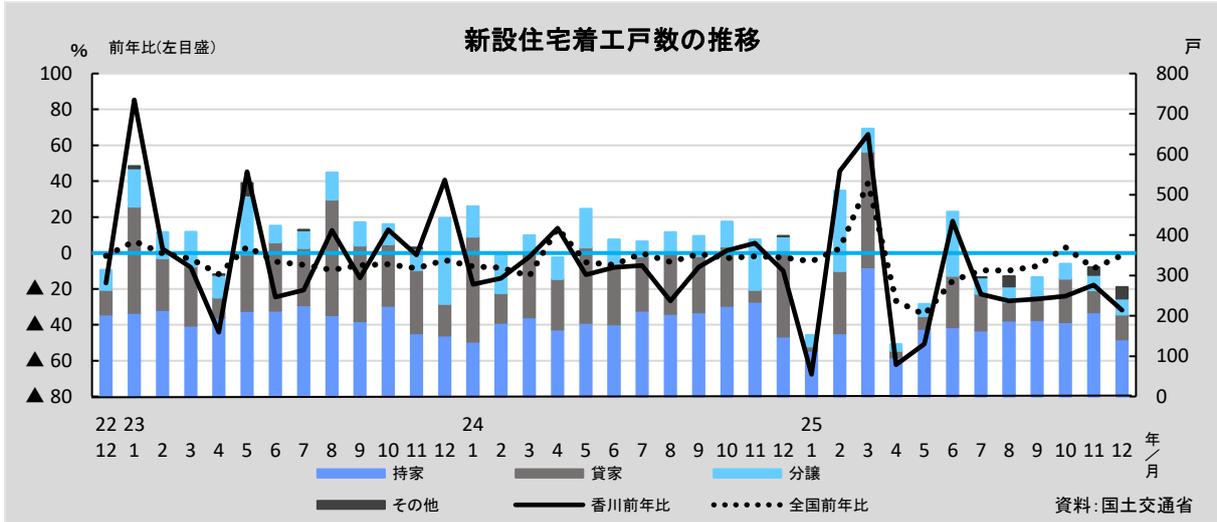
車種別にみると、普通乗用車は前年同月比▲20.5%、小型乗用車は同+20.8%、軽乗用車は同▲6.8%となった。

住宅投資

低調に推移している

●新設住宅着工

6 カ月連続減少 ↓



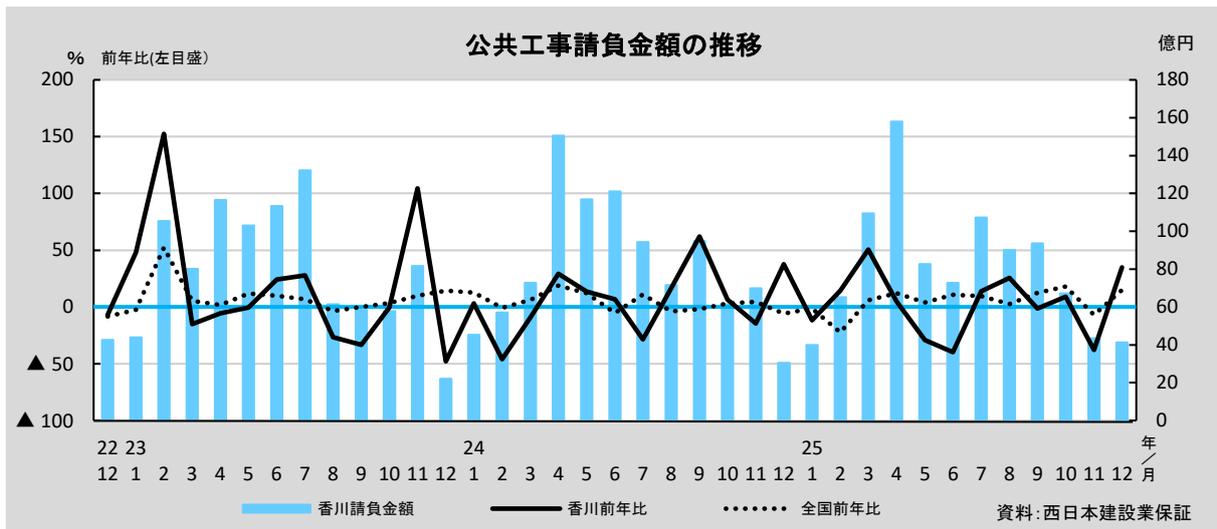
12月の新設住宅着工戸数は271戸で、前年同月比▲31.9%と6カ月連続で減少しました。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比▲4.7%、**貸家**で同▲70.4%、**分譲住宅**で同▲4.8%となった。

公共投資

持ち直しの動きがみられる

●公共工事請負金額

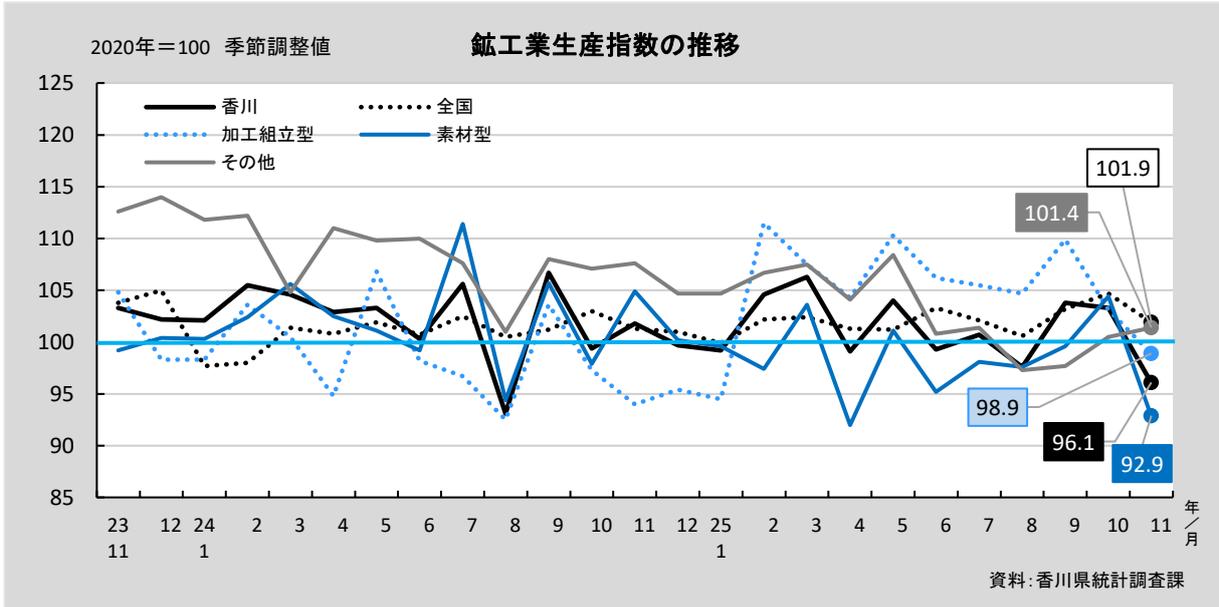
2 カ月ぶり増加 ↑



12月の公共工事請負金額は41.2億円で、前年同月比+34.9%と2カ月ぶりに増加しました。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比+123.4%、**県**で同+50.4%、**市町**で同+13.5%となった。2025年度（4～12月）の累計では前年同期比▲6.8%と減少している。

● 鉱工業生産指数

2 カ月連続低下 ↓

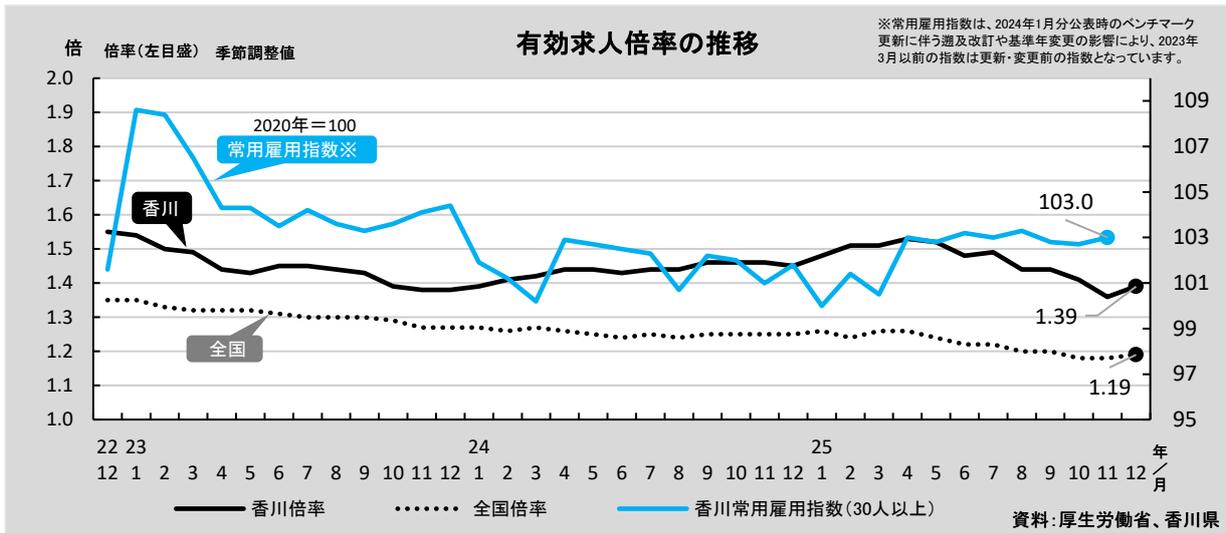


11月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は96.1（前月103.3）となり、2カ月連続で低下した。

業種別では、素材型の化学・石油石炭製品工業（塩化物など）は前月比▲17.5%、金属製品工業（アルミニウム製建具など）は同▲12.7%と低下した。一方、その他業種の食料品工業（食用油など）は同+1.9%と上昇した。

● 有効求人倍率

5 カ月ぶり増加 ↑



12月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.39倍（全国7位）で前月より0.03ポイント上昇した。

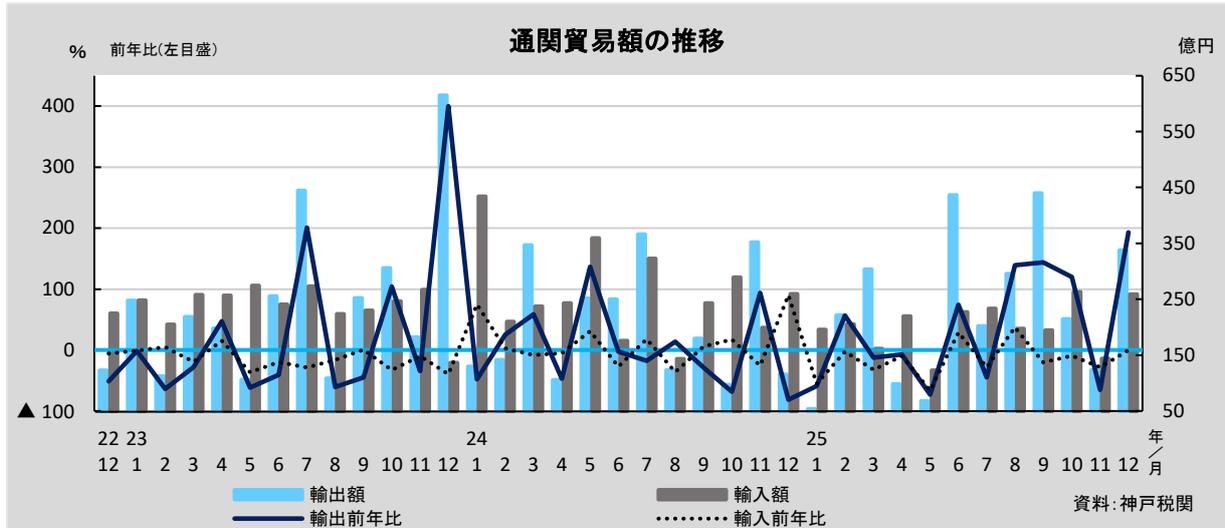
新規求人（原数値：前年同月比）は、医療・福祉、サービス業（他に分類されないもの）、公務・その他等で増加となり、全体で+6.3%と5カ月ぶりに増加した。

11月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、103.0となり、前年同月比は+2.0と10カ月連続で増加した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.48
事務的職業	0.64
販売の職業	2.55
サービスの職業	3.21
生産工程の職業	2.56
輸送・機械運転の職業	2.43
建設・採掘の職業	6.72
運搬・清掃・包装等の職業	1.20

貿易

輸出は増加、輸入は減少している



12月の輸出額は前年同月比+193.0%の337.6億円、輸入額は同▲0.1%の259.3億円となり、差し引き78.3億円の出超となった。輸出は貨物船輸出額が前年同月比678.7倍の249億円となり増加に寄与した。輸入は石炭輸入額が同▲43.1%の49億円となり減少に寄与した。

交通

国内線は16カ月連続増加、国際線は4カ月連続減少

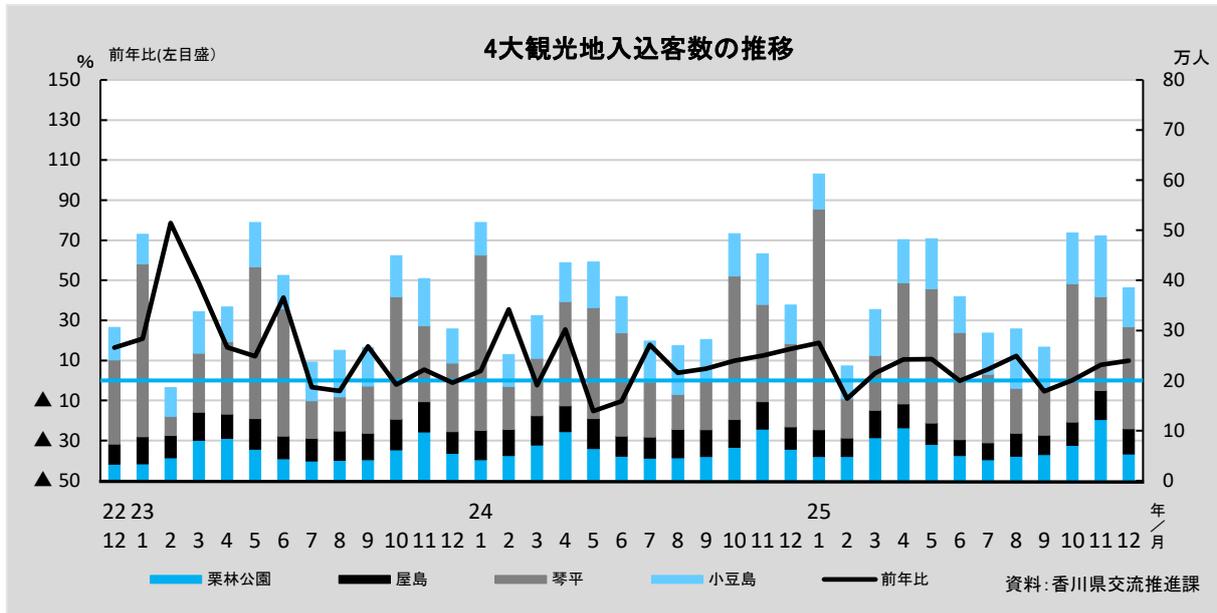
●高松空港旅客輸送実績



12月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が118,507人(前年同月比+5.6%)となり、16カ月連続で増加した。羽田線は110,081人(同+6.7%)、那覇線は8,426人(同▲6.9%)となった。

国際線は、ソウル線10,563人(同▲52.5%)、上海線2,546人(同▲57.7%)、台北線9,247人(同+54.4%)で合計22,356人(同▲34.7%)と4カ月連続で減少した。

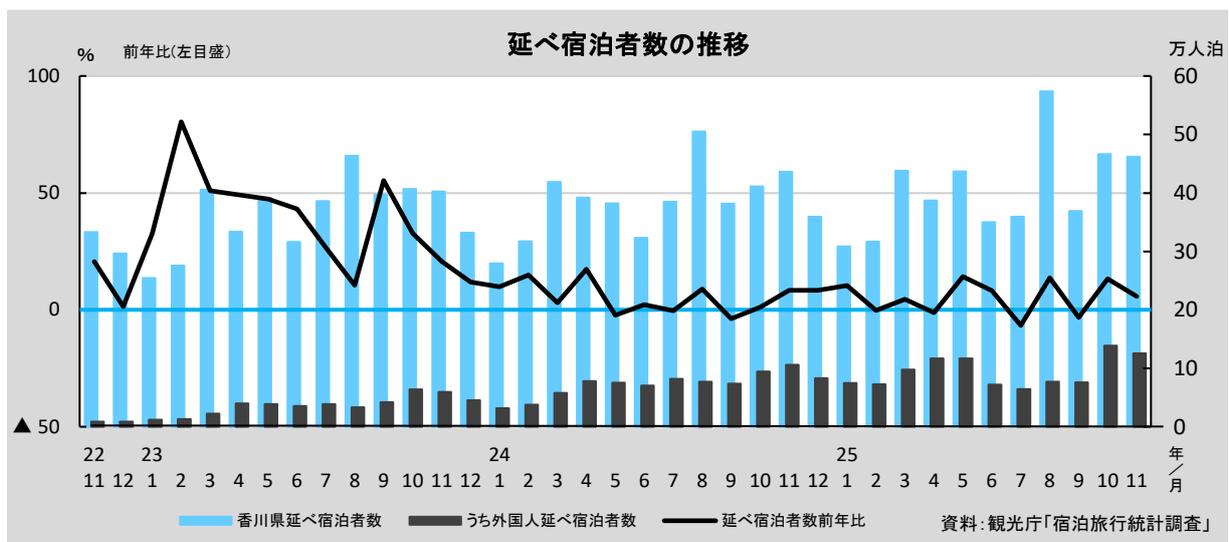
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園		屋島		琴平		小豆島		合計	
12月(人)	前年同月比	53,116	▲15.2%	50,451	12.7%	204,000	22.9%	77,544	0.3%	385,111	9.8%
1~12月累計(人)		798,405	7.0%	541,590	▲13.7%	2,340,000	10.8%	1,066,428	8.9%	4,746,423	6.3%

12月の主要観光地の入込客数は、前年同月比+9.8%と3カ月連続で増加した。屋島は前年同月比+12.7%、琴平は同+22.9%、小豆島は同+0.3%と増加した。一方、栗林公園は同▲15.2%と減少した。2025年(1~12月)の累計では前年同期比+6.3%と増加している。

●延べ宿泊者数



11月の延べ宿泊者数 461,890 人泊で、前年同月比+5.8%と2カ月連続で増加した。うち、外国人延べ宿泊者数は125,650 人泊となり、前年同月比+18.3%と4カ月連続で増加した。